



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 藤倉化成株式会社
コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名)加藤 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 (氏名)土谷 豊弘
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月2日
決算補足説明資料作成の有無: 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

上場取引所 東

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	29,030	10.5	727	41.8	1,084	41.6	715	91.2
2024年3月期中間期	26,271	2.9	513	130.9	766	115.8	374	180.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,112百万円(34.9%) 2024年3月期中間期 2,307百万円(△8.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	23.56	—
2024年3月期中間期	12.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	59,555	43,826	69.6
2024年3月期	57,609	41,581	68.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 41,444百万円 2024年3月期 39,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2025年3月期	—	9.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	8.3	1,900	46.3	2,000	8.3	1,200	11.6	39.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更: 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「2.中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	30,850,000株	2024年3月期	30,850,000株
2025年3月期中間期	951,036株	2024年3月期	20,836株
2025年3月期中間期	30,371,964株	2024年3月期中間期	30,829,164株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年12月17日(火)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	11
(中間連結損益計算書に関する注記)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復の動きが見られましたが、資源価格の高騰や為替変動による物価上昇の影響により今後も先行き不透明な状況が続くものと思われま
す。海外経済におきましては、ウクライナ情勢や中東情勢の緊張の長期化、欧米の高い金利水準の継続や中国にお
ける不動産市場停滞の影響等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明
な状況で推移するものと思われま

す。このような環境の下、当中間連結会計期間の売上高は290億30百万円(前年同期比10.5%増)となり、営業利益は
7億27百万円(同41.8%増)、経常利益は10億84百万円(同41.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は7億15百
万円(同91.2%増)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材(『レクラック』・『フジハード』等)を取扱うコーティングセグメントにお
きましては、自動車向け塗料の国内の販売は、自動車生産台数が安定的に回復してきたことに伴い、需要が堅調
に推移いたしました。海外の販売は、引き続き北米、インドの販売が堅調に推移した一方、中国、欧州、タイの
販売が低調に推移いたしました。非自動車分野では、化粧品容器用塗料の販売が日系化粧品メーカーの販売不振
により低調だった一方、ホビー用塗料の販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は153億58百万円(同4.2%増)となり、営業利益は4億93百万円(同3.1%減)となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料セグメントにおきましては、新築用塗料におきましては、引き続き主要顧客の受注が
伸び悩んでいる影響を受け、需要が低調に推移いたしました。リフォーム用塗料におきましては、一部主要顧客
にて西日本エリアでのシェアアップ、塗装物件の増加等により、販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は57億49百万円(同4.1%増)となり、営業利益は98百万円(同89.7%増)となりました。

③ 電子材料

導電性樹脂材料(『ドータイト』)等を取扱う電子材料セグメントにおきましては、車載向け製品の需要が低
調に推移した一方、PC、カーナビ関連製品の販売が堅調に推移いたしました。電子部品関連市場は回復傾向が続
いております。

この結果、売上高は19億43百万円(同20.7%増)となり、営業利益は43百万円(前年同期は営業損失73百万円)
となりました。

④ 化成品

トナー関連材料、粘・接着剤ベース(『アクリベース』)やメディカル材料を取扱う化成品セグメントにお
きましては、トナー用樹脂や電荷制御剤に加え、電子部品用粘着剤や新たに発売したUV剥離型粘着剤の販売が好調
に推移いたしました。メディカル材料分野におきましては、糖尿病診断薬は前年並みの売上を確保しましたが、
原料ラテックスの中国での販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は23億4百万円(同10.3%増)となり、営業利益は62百万円(同271.2%増)となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社等が取扱う、樹脂製品の仕入・販売を行う合成樹脂セグメントにおきましては、北米
向けのアクリル樹脂原料の販売が大きく伸張した一方、リチウムイオン電池用製品の販売は第2四半期に入り市
場が鈍化したことにより低調に推移いたしました。

この結果、売上高は36億75百万円(同59.3%増)となり、営業利益は30百万円(同293.6%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産・負債・純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ19億46百万円(前連結会計年度末比3.4%)増加し、595億55百万円となりました。

① 流動資産

売掛金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ8億47百万円(同2.6%)増加し、339億71百万円となりました。

② 固定資産

投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ10億99百万円(同4.5%)増加し、255億84百万円となりました。

③ 流動負債

支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ7億3百万円(同5.6%)減少し、119億2百万円となりました。

④ 固定負債

繰延税金負債の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ4億4百万円(同11.8%)増加し、38億27百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ22億45百万円(同5.4%)増加し、438億26百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.1%から69.6%へと1.5ポイント増加となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より112円73銭増加し、1,386円15銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11億18百万円減少し、109億14百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が3億35百万円であったものの、税金等調整前中間純利益10億84百万円や減価償却費8億45百万円などにより、7億8百万円の収入(前年同期は11億94百万円の収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入9億19百万円などがあったものの、有形固定資産の取得による支出7億41百万円などにより、11億61百万円の支出(前年同期は6億61百万円の支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得により5億円の支出、配当金により2億47百万円の支出などがあったため、11億70百万円の支出(前年同期は5億1百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想は、2024年5月14日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,335,882	12,679,023
受取手形	1,179,591	910,996
売掛金	10,046,200	10,666,070
商品及び製品	5,183,572	5,005,742
仕掛品	136,898	161,226
原材料及び貯蔵品	3,325,193	3,563,140
その他	1,088,549	1,172,197
貸倒引当金	△171,671	△187,122
流動資産合計	33,124,214	33,971,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,694,687	14,534,355
減価償却累計額	△8,501,341	△8,645,570
建物及び構築物 (純額)	6,193,346	5,888,785
機械装置及び運搬具	17,390,110	17,872,200
減価償却累計額	△14,491,618	△14,764,354
機械装置及び運搬具 (純額)	2,898,492	3,107,846
工具、器具及び備品	5,684,230	5,795,061
減価償却累計額	△4,980,938	△5,021,401
工具、器具及び備品 (純額)	703,292	773,660
土地	4,707,119	4,535,374
リース資産	1,173,377	1,250,993
減価償却累計額	△492,564	△536,267
リース資産 (純額)	680,813	714,726
建設仮勘定	394,756	398,744
有形固定資産合計	15,577,818	15,419,135
無形固定資産		
ソフトウェア	470,636	449,739
その他	959,059	1,025,066
無形固定資産合計	1,429,695	1,474,805
投資その他の資産		
投資有価証券	4,249,364	5,001,935
長期貸付金	136,114	134,555
繰延税金資産	164,553	265,754
退職給付に係る資産	534,767	749,757
その他	2,530,469	2,676,102
貸倒引当金	△137,659	△138,014
投資その他の資産合計	7,477,608	8,690,089
固定資産合計	24,485,121	25,584,029
資産合計	57,609,335	59,555,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,670,836	5,884,250
短期借入金	2,816,945	2,793,872
リース債務	175,836	201,030
未払法人税等	135,917	201,001
未払費用	1,152,069	1,116,665
賞与引当金	588,455	730,645
その他	1,064,945	974,316
流動負債合計	12,605,003	11,901,779
固定負債		
リース債務	371,609	376,988
繰延税金負債	30,966	292,516
退職給付に係る負債	2,644,013	2,779,764
長期未払金	9,075	9,022
その他	367,821	368,886
固定負債合計	3,423,484	3,827,176
負債合計	16,028,487	15,728,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,032,320	5,032,320
利益剰余金	23,388,402	23,857,211
自己株式	△10,688	△510,684
株主資本合計	33,762,155	33,730,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,395,203	1,915,155
為替換算調整勘定	4,119,579	5,782,357
退職給付に係る調整累計額	△18,427	15,920
その他の包括利益累計額合計	5,496,355	7,713,432
非支配株主持分	2,322,338	2,381,946
純資産合計	41,580,848	43,826,346
負債純資産合計	57,609,335	59,555,301

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	26,270,612	29,029,755
売上原価	18,676,019	20,735,468
売上総利益	7,594,593	8,294,287
販売費及び一般管理費	7,081,841	7,567,028
営業利益	512,752	727,259
営業外収益		
受取利息	48,500	70,331
受取配当金	44,003	88,602
固定資産賃貸料	33,076	37,166
持分法による投資利益	15,938	58,725
投資有価証券売却益	186,142	11,104
為替差益	-	57,180
その他	58,074	110,996
営業外収益合計	385,733	434,104
営業外費用		
支払利息	61,804	56,523
為替差損	61,997	-
固定資産除却損	625	3,779
その他	8,278	16,906
営業外費用合計	132,704	77,208
経常利益	765,781	1,084,155
税金等調整前中間純利益	765,781	1,084,155
法人税、住民税及び事業税	177,152	367,324
法人税等調整額	48,084	△68,645
法人税等合計	225,236	298,679
中間純利益	540,545	785,476
非支配株主に帰属する中間純利益	166,355	70,034
親会社株主に帰属する中間純利益	374,190	715,442

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	540,545	785,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,335	516,677
為替換算調整勘定	1,696,200	1,797,716
退職給付に係る調整額	△69,520	34,347
持分法適用会社に対する持分相当額	10,527	△22,242
その他の包括利益合計	1,766,542	2,326,498
中間包括利益	2,307,087	3,111,974
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,033,245	2,932,519
非支配株主に係る中間包括利益	273,842	179,455

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	765,781	1,084,155
減価償却費	755,085	845,487
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,454	△30,244
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,929	132,455
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,188	△2,577
受取利息及び受取配当金	△92,503	△158,933
支払利息	61,804	56,523
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,490,850	210,477
棚卸資産の増減額 (△は増加)	749,264	511,422
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△161,788	△80,005
仕入債務の増減額 (△は減少)	342,663	△1,133,978
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	115,977	△23,493
その他	240,257	△575,107
小計	1,281,027	836,182
利息及び配当金の受取額	98,615	183,344
利息の支払額	△53,900	△63,075
法人税等の支払額	△252,007	△335,429
法人税等の還付額	119,852	87,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,193,587	708,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△264,625	△1,706,343
定期預金の払戻による収入	200,110	327,138
有形固定資産の取得による支出	△800,754	△741,399
有形固定資産の売却による収入	4,103	919,241
無形固定資産の取得による支出	△164,701	△35,471
投資有価証券の取得による支出	△1,603	△2,445
その他	366,375	77,906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661,095	△1,161,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,469	△229,218
リース債務の返済による支出	△89,443	△115,505
自己株式の取得による支出	-	△499,996
配当金の支払額	△246,633	△246,633
非支配株主への配当金の支払額	△171,875	△78,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,482	△1,169,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	347,019	504,637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	378,029	△1,118,209
現金及び現金同等物の期首残高	11,989,680	12,032,602
現金及び現金同等物の中間期末残高	12,367,709	10,914,393

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	14,739,559	5,524,769	1,609,978	2,088,897	2,307,409	26,270,612
外部顧客への売上高	14,739,559	5,524,769	1,609,978	2,088,897	2,307,409	26,270,612
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	26	32,142	32,168
計	14,739,559	5,524,769	1,609,978	2,088,923	2,339,551	26,302,780
セグメント利益又は損失(△)	509,333	51,897	△72,551	16,598	7,528	512,805

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	512,805
セグメント間取引消去	△53
中間連結損益計算書の営業利益	512,752

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,358,231	5,749,409	1,942,723	2,304,177	3,675,215	29,029,755
外部顧客への売上高	15,358,231	5,749,409	1,942,723	2,304,177	3,675,215	29,029,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	-	-	78	41,561	41,659
計	15,358,251	5,749,409	1,942,723	2,304,255	3,716,776	29,071,414
セグメント利益	493,348	98,431	43,474	61,611	29,627	726,491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	726,491
セグメント間取引消去	768
中間連結損益計算書の営業利益	727,259

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式930,200株を499,996千円で取得しました。

この自己株式の取得により、当中間連結会計期間末における自己株式は510,684千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)		当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
東北藤光(株)	80,000千円	東北藤光(株)	80,000千円

2 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	46,449千円	23,268千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
荷役運送費	439,970千円	427,438千円
貸倒引当金繰入額	△5,593	△1,436
従業員給与手当	1,790,174	1,860,616
賞与引当金繰入額	305,525	434,444
退職給付費用	217,309	265,618
研究開発費	1,421,337	1,494,495
減価償却費	237,447	278,055

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	12,668,884千円	12,679,023千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△301,175	△1,764,630
現金及び現金同等物	12,367,709	10,914,393

(重要な後発事象)

該当事項はありません。